

我がクラブの目指すところ (IM第3組)

大東RC 会長

上田正義

クラブの目指すべき方向性・指針の基本は、大東ロータリークラブ定款及び細則R I 定款の基本の元に、歴代会長の年度方針の積み重ねが、現在の大東ロータリークラブのカラーを作られました。私で46代目になります。

先輩諸兄が築き上げられました大東ロータリークラブ46年の歴史と伝統に敬意を抱き、さらなる発展の為、魅力ある楽しいクラブ・会員相互の親睦・友情を深めるクラブを目指してまいります。

当クラブは年齢別にバランスが取れているかと思えます。確かに会員数は71名から現在43名になっていますが、人数が減った分、全員が年齢相応な活動されている姿を垣間見えた時、会長として非常に有難い気持ちで

一杯になります。

私の本年度方針は「今を生きる、そして未来につなげる」としました。歴代会長がされてこられた「未来につなげる」、そして「今」があるのです。偉大なる人々が努力と試行錯誤されて今日の輝かしいロータリークラブがあるのです。我々ロータリアンは「今」何をすべきか、先輩会員から後輩会員に「そして未来につなげる」責任があるのです。この繰返しが大東ロータリークラブの歴史でもあり目指すところでは。

私は本年度を会員相互で、「未来につなげて」いただく事に、少しでもお役に立てる様に会長といたしまして、お世話したいと思っております。

大東中央RC 会長

田中正美

我が大東中央ロータリークラブは、28名の男女混合のクラブです。

目指すところは、例会が楽しくて、そして会員相互の笑顔が見たくて、全会員が出席するのが楽しみになる。そして、活動が活発に行なわれ、奉仕の心を持ち、計画された目標に向かって進み、成果を上げる。ニコニコ箱や財

団への寄付も喜んで進んで行き、心から世界平和を願い、笑顔が満ちあふれるクラブ。

もちろん、増強なども心配せずに、素晴らしい会員がどんどん集まる。いいですね～いいですね。そんなクラブの姿です。そんなクラブを目指して私は努力奮闘中です。

枚方RC 会長

家高健志

私が今年度のクラブ目標として掲げたのは「1.会員増強」「2. IT 利用によるクラブ活動活性化」「3.ロータリーを楽しもう」です。

今年で創立53年目となり、近年ベテラン会員の引退等により昨年7月には38名迄会員数が減少してしまいました。

しかしその後会員一丸となった新人勧誘活動により、昨年9月より現在までに12名の方が入会され11月にはさらに2名の方の入会が予定されています。

誠にうれしい限りですが、「最初が肝心」という言葉がありますように、新人の方に対する日頃のちょっとした声掛けを心がけております。

例会出席がロータリーの一番の基本であり、又クラブに馴染む一番の近道であるのは言うまでもありませんが、しかし泡付きのお水を頂きながらの夜の勉強会は、より一層「好意と友情を深める」のに大きな効果があります。(実に日本的ですが)

私も退会防止の為(?) 新人の方と既存会員を交えて

の夜の小例会を催しますが、私自身にとっても楽しく、有意義な時間となっています。

ロータリークラブに参加することで、多くの気付きと、生涯の友人を得ることができる事をたくさんの方に知っていただき「行って楽しいロータリー」「行って為になるロータリー」を目指し目標と致します。

門真RC 会長

西川亮彦

本年で創立45周年を迎えます。周年の式典等は考えていませんが、念願であった「身近なところで姉妹クラブを」が実現でき、このたび10月27日に台湾台北市の益成扶輪社(イツェンロータリークラブ)と締結調印式を台北君悦大飯店(グランドハイアット台北)で行う運びとなりました。国際奉仕活動がより一層広がるものと期待しています。

40周年を終えた時に次の10年の長期計画をたて、一年一年実現に向け着々と進んでいます。

当クラブは松下電工(株)丹羽正治社長で創立。会員32名中、企業会員7割、地元会員3割の構成で、創立当初の雰囲気を保ちながら仲良く運営しています。

50周年には40名を目指しています。「入りたい人」よりも「入ってほしい人」を基本に増強を図っています。

本年「友に学び共に幸福(しあわせ)を素敵な門真ロータリークラブとともに」を掲げ、これからも入会してよかったと思えるクラブであり続けたいと思っています。

交野RC 会長

佐藤義也

会員ひとりひとりが、いついかなるときも「ロータリアンでよかった」と思えるクラブでありたいと願っています。

それは、クラブが行うロータリー活動において、会員に大なり小なり一人一役を担ってもらい、無言のうちに「自分はこのクラブにとって欠くべからざる大事なパートである」と自覚してもらうことから始まると思います。

その上で、会員が誇れるような、クラブとして特色があり、地元にも密着したロータリー活動を行うこと

が大切だと考えます。

特に近年、交野ロータリークラブでは、職業奉仕、会員相互の親睦はもとより、新世代奉仕、社会奉仕に力を入れ、毎年、交換留学生、または米山奨学生を、地元交野市国際交流協会と連携して迎える傍ら、岩手県大槌町、福島県いわき市などへの被災地支援、大阪府生駒花屏風構想に賛同しての植樹、交野市と連携してのスリランカ児童へのリユース自転車贈呈など特色ある取組みをしています。

香里園RC 会長

浅井勝彌

私どもの香里園ロータリークラブは寝屋川ロータリークラブを親クラブに、20年前に発足し来年周年を迎えます。

一時は20数名を維持しておりましたが、現在総勢15名の弱小クラブで、IM3組内ではブービーの位置にいます。それを鑑み、身の丈に合ったクラブ運営に代々の会長は努めて参りました。私もそのように継続努力したいと思っております。

私、浅井勝彌が今期の会長就任に当たり、掲げたテーマは“Home Sweet Home 小さいながらも楽しい我が家” 副題は“継続は力なり”です。

このテーマからご想像頂けると思いますが、このクラブに入ってから良かった！との思いを会員一人一人が抱いていただけるような、親しみやすい、アットホームなクラブになればいいなどの願いを込めております。

我がクラブ独自の事業と致しましては、昨年に被災

地東北の業者さんと呼び寄せて、“東日本大震災の支援市”を府立寝屋川公園近くに出来た、VIVAMALLの一角で2日間開催し、大変な盛況をみ、近隣住民からも高く評価して頂いたものと自負いたしております。出来ればこの事業も継続していきたいとは考えております。

さらには、8年前より、寝屋川市立の障害児療育施設“あかつき・ひばり園”に訪問して、園児と共にゲームをし、絵本の読み聞かせを致しております、こちらも、園児をはじめ職員父兄からも喜ばれていて、これは継続していく覚悟です。

後、IMの当番に当たってしまして、この行事を滞りなく終えるのが今年最大の課題です。会員全員一丸となり、取り組んで参りますが、至らぬ事多々生じるのではと、危惧しております。

弱小クラブ故と目をつぶって頂いて、お許しとご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

くずはRC 会長

北川順清

当クラブは来年創立40周年を迎えますが、今日まで様々な奉仕活動に取り組み“ロータリーを实践”して参りました。それらの活動は地域社会にもしっかりと根ざし、その功績が残されています。

本年度は40周年に向けての準備年度として、また40年の節目を繋ぐ大事な年度であります。福家ガバナーの言われるクラブ強化(より充実したプロジェクト)に取り組み、継続事業や奉仕活動を会員一丸となって“ロ

ーリーを实践”する中で、会長テーマ「自他敬愛」を提唱いたします。やさしさや思いやり、愛情は大切な部分ですが、目には見えません。その目に見えない部分を大切に、精一杯の活動をして参ります。

その為にはクラブの活性化を図り、第一に会員の増強(3名以上)55名以上の会員、第二は出席率の向上、第三は地域でリーダーとなりクラブ全員で取り組む奉仕活動を実践いたします。

守口RC 会長

菊田 芳

ロータリークラブは云うまでも無く職業、国際、社会、新世代の各奉仕活動を通じて社会に貢献するのをその旨としています。

我がクラブに於いても会員相互の親睦を一層深め、職業を通じて地域社会への貢献を目指していますが、その活動主体に於いて、他の会員から言われて惟なんとなく義理的に追行するのではなく、クラブの各事業に参画す

るに際し「ロータリーに入会して良かった」と実感できるような事業展開を諮って行きたいと思っています。

その為には事業展開に際し、当然のことながら各委員会や理事会で議論を尽くし会員のコンセンサスを得、事業参画に無力感を感じている会員に積極的に参画する生甲斐を持って貰うようなクラブを目指します。

守口イブニングRC 会長

福田治夫

当クラブは誕生後13年で14年目になろうとしている若いクラブです。会員は27人で少人数ですが、お互いの顔が見えるまとまりのあるクラブです。「初心に戻る」ということから本年度のクラブのテーマはチャーターナイト時のR I テーマの一説を引用し「Take action 行動しよう!」としました。

当クラブは、小規模なクラブなので、会員からの浄財が一人一人に頑張っていたいただいても総額では少額です。R I や地区の補助金を活用し姉妹クラブや友好クラブと連携して奉仕活動を行っていくように努力していま

す。

新たな試みとして、守口イブニングロータリークラブが提唱クラブとなって「インターアクトクラブ」を立ち上げ、インターアクトクラブの奉仕活動の指導、助言、支援をしていきたいと思っています。また、その活動に参加する若者が将来、「社会に奉仕する」ロータリアンとなることを期待しています。当クラブとして初めての取り組みであるため、地区や会員の皆様にはいろいろとご負担、混乱を招くことがあると思いますが、未来を担う青少年のためにご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

寝屋川RC 会長

上村 章

寝屋川ロータリークラブは、本年、創立45周年を迎えることになりました。

2011～2012年度に立てました下記の「中期活動計画」を継続・発展して進めています。

- 5年後の会員数50人を目標として会員増強に取り組む（現在は42名）。
- ニコニコ募金を充当している「市民活動支援基金」活

動を継続する。

創設以来11年となり、前年度までに82の個人・団体に約1,000万円を支援しています。

- 第31回 寝屋川ロータリークラブ杯争奪各市親善ソフトボール大会
- 第11回 寝屋川ロータリークラブ杯学童軟式野球大会
- 寝屋川レスリング大会

○寝屋川市国際交流協会

○東日本大震災に関する支援等継続しています。

又、昨年度より国際奉仕活動として、他地区のロータリークラブと共にネパールの「ルーザートレーニングセンター」に支援をしています。

そして、45周年記念事業の一つとして、ロータリーク

ラブの公共イメージアップのための街頭看板の設置を企画中です。

今年度、会長テーマとして「一步前に!! より楽しく、より深く」と致しました。より親睦を深め楽しく、より深くロータリーを学び自分自身の人格を高め、自分の職業を通じ奉仕することを目指したいと思います。

四條畷RC 会長

平井正雄

四條畷ロータリークラブは、大東ロータリークラブを親局として、昭和52年11月に創立総会を実施し、スタートされました。

それ以来、我がクラブは活動に意欲と熱意をもって市行政、各地区のスポーツ団体を通じ子供たち等へも奉仕活動を実施してきました。ロータリー活動の良き理解者作りにもなればと思っています。

地域に愛され必要とされるクラブになる様続けて活動して行きたいと思います。その為にも増員が最重要課題と位置付け頑張っております。

又、この1年「思いやりの心を」と題して会員皆様方と共に取り組んでいるところです。私たちは創立の原点に立ち返り、会員相互の親睦を通じて魅力あるクラブ創りを目指していきたいと考えています。